

平成21年3月期
第2四半期（中間期）決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【 目 次 】

1. 平成20年9月中間期 決算ダイジェスト	P 1～6
2. 中間決算の概況		
(1) 損益状況	P 7～8
(2) 業務純益	P 9
(3) 利鞘	P 9
(4) 有価証券関係損益	P 9
(5) 有価証券の評価損益	P 10
(6) 自己資本比率(第二基準、国内基準)	P 11
(7) ROE	P 12
3. 貸出金等の状況		
(1) リスク管理債権(紀陽ホールディングス連結)	P 13
(2) リスク管理債権(紀陽銀行単体)	P 14
(3) 金融再生法開示債権(紀陽銀行単体)	P 15
(4) 開示債権における各種基準の比較(紀陽銀行単体)	P 16
(5) 業種別貸出状況等(紀陽銀行単体)	P 17
(6) 消費者ローン残高	P 18
(7) 中小企業等貸出比率	P 18
(8) 国別貸出状況等(紀陽銀行単体)	P 18
(9) 預金、貸出金等の残高	P 19
<参考資料>		
(紀陽銀行分) 中間連結財務諸表・中間個別財務諸表	P 20～23
・ 中間連結財務諸表(中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書)		
・ 中間個別財務諸表(中間貸借対照表、中間損益計算書)		

※ 当社および当社の子会社である紀陽銀行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

(計数の表示方法について)

当社の子会社である紀陽銀行は、平成18年10月に旧和歌山銀行と合併しております。このため、本資料における「旧和歌山銀行を含む」と記載のある図表における平成18年3月期の計数について、比較のために紀陽銀行単体と旧和歌山銀行単体を単純合算した計数を記載しております。

(注) 本資料のうち将来に関する事項につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

1. 平成20年9月中間期 決算ダイジェスト

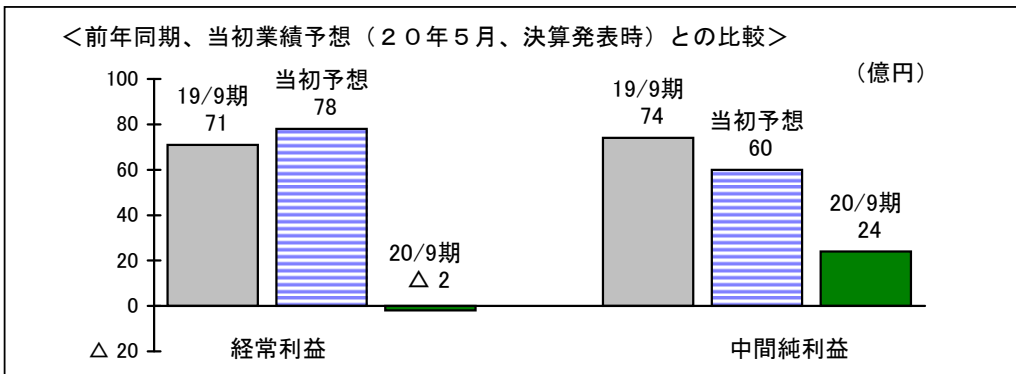
(1) 損益の状況

① 紀陽ホールディングス連結

- ・当中間期の紀陽ホールディングス連結の経営成績は、子銀行（紀陽銀行）において、本業部分がおおむね順調に推移するなか、リーマン・ブラザーズ・ホールディングス・インクの経営破綻による有価証券減損処理などが発生したことにより、2億円の経常赤字となりました。
- ・しかしながら、貸倒引当金戻入益を計上したことに加え、有価証券減損処理にかかる繰延税金資産を計上しましたことなどから、中間純利益は24億円となりました。
- ・なお、償却債権取立益や貸倒引当金戻入益も勘案した与信コストの総額は、26億円となりました。

	20年中間期		19年中間期
		19年中間期比	
連結粗利益	26,574	△ 4,638	31,212
資金利益	26,787	830	25,957
役務取引等利益	4,842	△ 190	5,032
その他業務利益	△ 5,055	△ 5,277	222
営業経費(△)	19,963	381	19,582
一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,505	△ 2,505
不良債権処理額②(△)	4,931	△ 627	5,558
(与信費用①+②)	(4,931)	(1,878)	(3,053)
うち貸出金償却(△)	3,814	1,337	2,477
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 2,714	2,714
株式関係損益	△ 1,938	△ 55	△ 1,883
経常利益	△ 247	△ 7,439	7,192
特別損益	1,842	629	1,213
うち償却債権取立益	1,019	△ 906	1,925
うち貸倒引当金戻入益	1,247	1,247	—
うち減損損失(△)	398	252	146
法人税等調整額(△)	△ 1,192	△ 1,859	667
中間純利益	2,415	△ 5,010	7,425
(ご参考) 与信コスト総額	2,678	1,551	1,127

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)
3. 20年中間期の一般貸倒引当金繰入額は△3,240百万円となり、個別貸倒引当金繰入額1,992百万円とネットし、1,247百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。
- (ご参考) 与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益(貸出関連のみ)
4. (△)は損失項目です。



② 紀陽銀行単体

- ・紀陽銀行単体ベースのコア業務純益は前年同期比1億円増加の113億円となりました。
- ・業務粗利益は前年同期比48億円減少の247億円となりました。本業部分が概ね順調に推移するなか、多額の国債等債券償却が発生したことにより、その他業務利益が前年同期比52億円減少の△54億円となったことが影響いたしました。
- ・資金利益については、預貸金残高が大きく伸びていますことから、前年同期比7億円増加の265億円となりました。役員取引等利益については、投資信託販売が減少しましたものの、個人年金保険販売が順調に推移しましたことから、前年同期比2億円減少の35億円となりました。
- ・償却債権取立益や貸倒引当金戻入益も勘案した与信コスト総額については、前年同期比11億円増加の21億円となりました。企業再生にかかるコストを計上しておりますので前年同期比で増加となっておりますが、地域経済の景況感悪化のなかにあっても、これまでに保守的な引当を続けてまいりましたことから、与信コストは限定的となっております。
- ・有価証券関係損失により、経常利益は前年同期比74億円減少の2億円となりました。
- ・特別利益に貸倒引当金戻入益を計上したことなどにより、中間純利益は前年同期比14億円減少の31億円となりました。

(百万円)

	20年中間期		19年中間期
		19年中間期比	
業務粗利益	24,707	△ 4,806	29,513
資金利益	26,594	711	25,883
役員取引等利益	3,584	△ 278	3,862
その他業務利益	△ 5,472	△ 5,240	△ 232
経費(△)	18,361	9	18,352
一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,117	△ 2,117
業務純益	6,346	△ 6,932	13,278
コア業務純益	11,388	169	11,219
不良債権処理額②(△)	4,371	△ 400	4,771
(与信費用①+②)	(4,371)	(1,718)	(2,653)
株式関係損益	△ 1,934	△ 189	△ 1,745
経常利益	237	△ 7,476	7,713
特別損益	1,850	6,476	△ 4,626
うち償却債権取立益	734	△ 990	1,724
うち貸倒引当金戻入益	1,539	1,539	—
うち減損損失(△)	398	176	222
うち親会社優先株式評価損(△)	—	△ 5,562	5,562
法人税等調整額(△)	△ 1,043	461	△ 1,504
中間純利益	3,104	△ 1,461	4,565
(ご参考) 与信コスト総額	2,111	1,182	929

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。
3. 20年中間期の一般貸倒引当金繰入額は△3,061百万円となり、個別貸倒引当金繰入額1,522百万円とネットし、1,539百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。
- (ご参考) 与信コスト総額=与信費用-償却債権取立益-貸倒引当金戻入益(貸出関連のみ)
4. (△)は損失項目です。

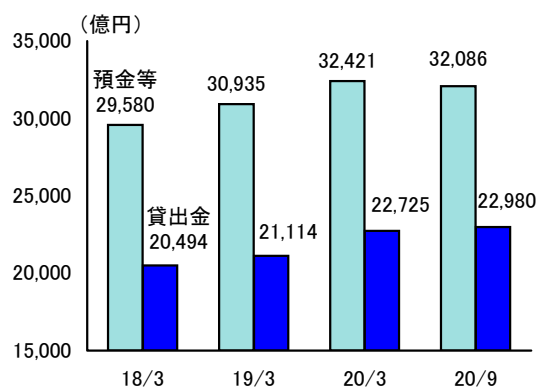
(2) 主要勘定の状況 (紀陽銀行単体)

- ・景況感が悪化しているなかではありますが、中小企業等向け貸出や住宅ローンに注力し、貸出金残高は前期末比255億円増加の2兆2,980億円となりました。
- ・預金・譲渡性預金合計は、前期末比335億円減少の3兆2,086億円となりました。
- ・投資信託販売が低調なか、個人年金保険販売は順調に推移しました。

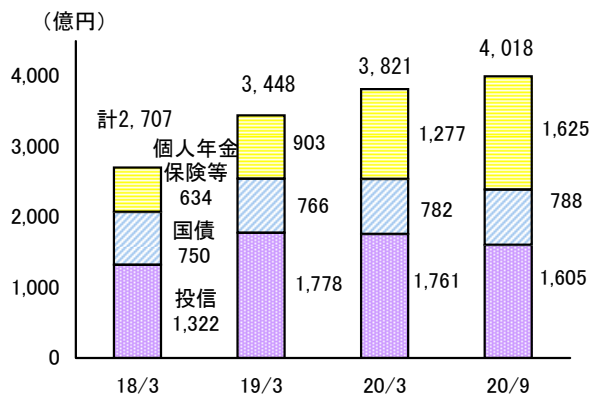
(百万円)

(期末残高)	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
貸出金	2,298,085	25,585	99,148	2,272,500	2,198,937
うち消費者ローン	769,084	35,055	61,601	734,029	707,483
預金・譲渡性預金合計	3,208,632	△ 33,555	50,897	3,242,187	3,157,735
うち個人預金	2,436,478	△ 6,499	87,380	2,442,977	2,349,098
預かり資産(投資信託)	160,539	△ 15,588	△ 43,658	176,127	204,197
預かり資産(国債等)	78,810	554	△ 1,013	78,256	79,823
個人年金保険等販売累計額	162,532	34,759	57,394	127,773	105,138

<預金等、貸出金残高(旧和歌山銀行を含む)>



<預かり資産残高(旧和歌山銀行を含む)>



(3) 有価証券の状況 (紀陽銀行単体)

- ・サブプライム住宅ローン問題に端を発した金融市場の混乱により、保有している国内株式、円建ての外国証券、投資信託等において含み損が拡大しました。
- ・変動利付国債の評価は、市場時価で評価しており、理論価格を利用しておりません。

<その他有価証券で時価のあるもの>

(百万円)

	20年9月末				20年3月末 (含み損益)
	貸借対照表計上額	含み損益	うち含み益	うち含み損	
株式	48,497	△ 6,655	5,103	11,758	△ 3,836
国内債券	450,200	△ 7,282	917	8,200	2,231
うち変動利付国債	113,490	△ 5,684	—	5,684	△ 3,190
外国債券	207,978	△ 16,285	214	16,500	△ 8,984
うち円建外債	55,630	△ 3,781	—	3,781	△ 2,843
うちユーロ円債	144,941	△ 12,124	101	12,226	△ 6,109
その他	19,968	△ 6,488	101	6,590	△ 4,253
うち投資信託	17,176	△ 6,469	68	6,537	△ 4,254
合計	726,644	△ 36,712	6,337	43,050	△ 14,843

(4) 不良債権の状況 (金融再生法開示債権) (紀陽銀行単体)

- ・中期経営計画において、平成21年3月期までの目標としていた不良債権比率4%台に到達することができました。
- ・景況感が急速に悪化してきているなかではありますが、事業再生や経営改善支援への取り組み等を強力に推し進め、不良債権比率のさらなる低下を目指します。
- ・金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末比で66億円減少し、1,113億円となりました。
- ・不良債権比率は、前期末比で0.33%低下し、4.76%となりました。
- ・なお、20年9月末の引当率は71.3%、保全率は90.9%となりました。

① 不良債権 (金融再生法開示債権) の状況

(百万円)

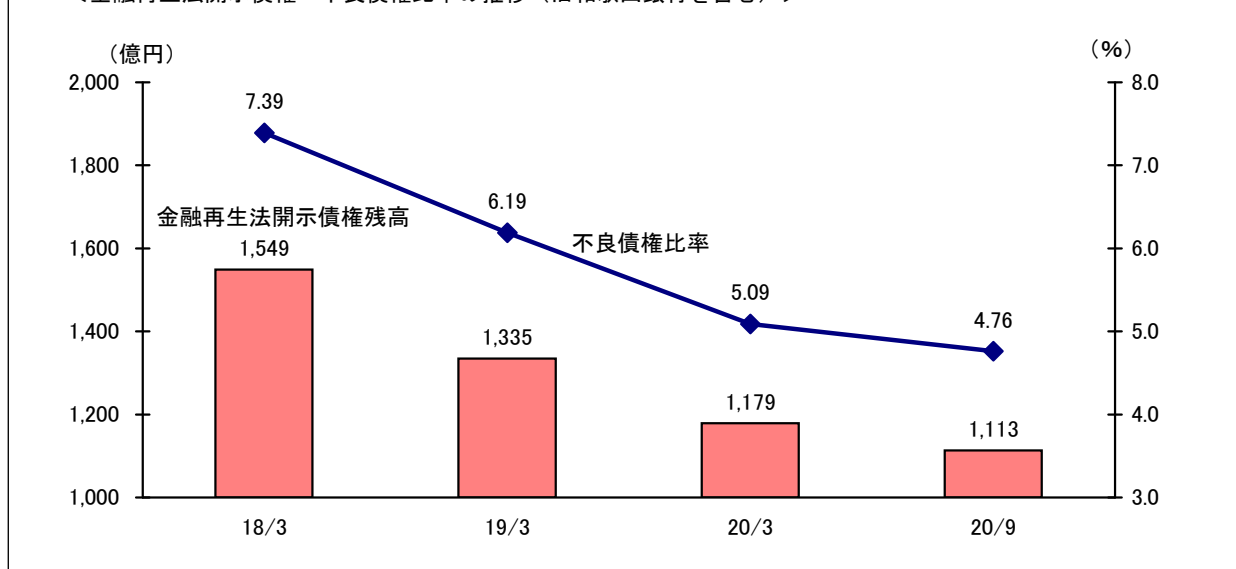
	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	30,215	△ 3,049	581	33,264	29,634
危険債権	62,479	△ 804	△ 10,507	63,283	72,986
要管理債権	18,673	△ 2,763	2,086	21,436	16,587
小計 (不良債権)	111,368	△ 6,615	△ 7,839	117,983	119,207
正常債権	2,226,854	29,597	102,267	2,197,257	2,124,587
合計	2,338,223	22,982	94,428	2,315,241	2,243,795
再生法開示債権比率 (不良債権比率)	4.76%	△ 0.33%	△ 0.55%	5.09%	5.31%

② 保全状況

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
不良債権額	111,368	△ 6,615	△ 7,839	117,983	119,207
担保・保証等	76,311	△ 5,522	△ 5,175	81,833	81,486
不良債権額のうち、担保・保証等によりカバーされていない部分	35,056	△ 1,094	△ 2,665	36,150	37,721
貸倒引当金	24,995	△ 997	△ 3,206	25,992	28,201
引当率	71.3%	△ 0.6%	△ 3.4%	71.9%	74.7%
保全率	90.9%	△ 0.4%	△ 1.1%	91.3%	92.0%

<金融再生法開示債権・不良債権比率の推移 (旧和歌山銀行を含む)>



(5) 自己資本比率及び繰延税金資産の状況

- ・紀陽ホールディングス連結の自己資本は、その他有価証券評価差損の拡大により、前期末比146億円減少し、1,638億円となりました。
- ・リスクアセットは、中小企業向け貸出や住宅ローンを中心に貸出金残高が増加したことなどにより、前期末比703億円増加し、1兆7,451億円となりました。
- ・以上のことから、紀陽ホールディングス連結の自己資本比率は、9.38%（前期末比△1.27%）となりました。また、紀陽銀行単体の自己資本比率は、8.81%（前期末比△1.27%）となりました。
- ・繰延税金資産のTier Iに対する割合は、紀陽ホールディングス連結では31.9%（前期末比+7.3%）、紀陽銀行単体では34.3%（前期末比+8.2%）となりました。

① 紀陽ホールディングス連結

(百万円、%)

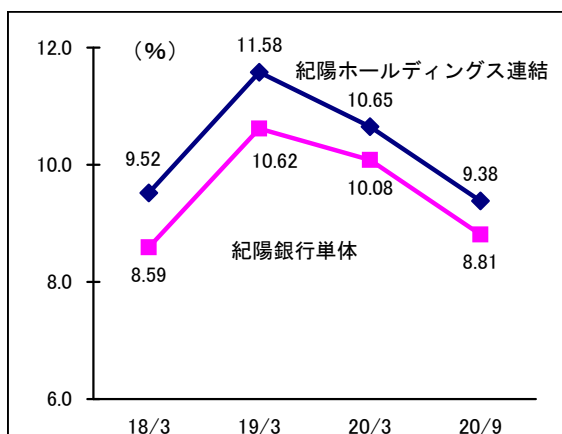
	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
自己資本比率	9.38%	△ 1.27%	△ 2.06%	10.65%	11.44%
Tier I比率	6.58%	△ 1.18%	△ 1.93%	7.76%	8.51%
自己資本	163,803	△ 14,652	△ 24,865	178,455	188,668
うちTier I	114,896	△ 15,092	△ 25,470	129,988	140,366
うちTier II	48,907	440	605	48,467	48,302
リスクアセット	1,745,153	70,330	96,774	1,674,823	1,648,379
繰延税金資産	36,760	4,711	6,668	32,049	30,092
Tier I対比	31.9%	7.3%	10.5%	24.6%	21.4%

② 紀陽銀行単体

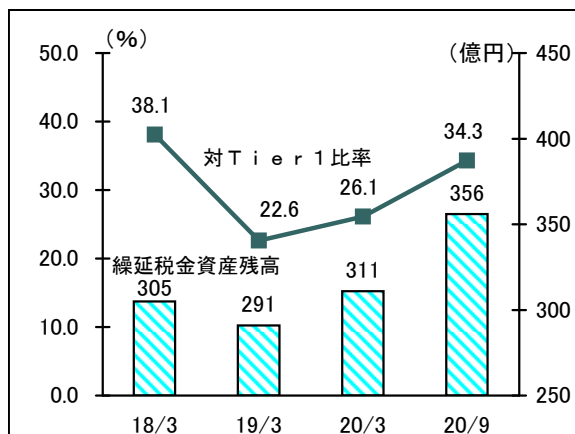
(百万円、%)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
自己資本比率	8.81%	△ 1.27%	△ 1.83%	10.08%	10.64%
Tier I比率	5.98%	△ 1.17%	△ 2.13%	7.15%	8.11%
自己資本	153,087	△ 14,810	△ 21,823	167,897	174,910
うちTier I	103,978	△ 15,252	△ 29,280	119,230	133,258
うちTier II	49,109	443	579	48,666	48,530
うち控除項目	—	—	△ 6,878	—	6,878
リスクアセット	1,737,384	71,813	94,590	1,665,571	1,642,794
繰延税金資産	35,685	4,540	3,583	31,145	32,102
Tier I対比	34.3%	8.2%	10.3%	26.1%	24.0%

<自己資本比率の推移>



<繰延税金資産の推移 (紀陽銀行単体)>



(6) 平成21年3月期 業績予想・配当予想

① 業績予想

- ・グループの中心である紀陽銀行においては、お客様との接点となる営業部門の強化に努め、引き続き、中小企業向け貸出及び住宅ローンなどにより、貸出金の増強に積極的に取り組んでまいります。
- ・資金運用収益は、政策金利の変更等により増加傾向が鈍化すると見込んでおります。
- ・役務収益は、投資環境の混乱から、預かり資産販売における手数料収入が減少すると見込んでおります。
- ・金融市場の混乱が続いており、その他有価証券含み損が増加しておりますことから、有価証券関係損失が大幅に増加すると見込んでおります。
- ・景況感が急速に悪化しているなかではありますが、不良債権比率が低下し、かつ、過去に保守的な引当をおこなってまいりましたことなどから、信用コストは前期を下回るものと見込んでいます。
- ・以上のような状況を総合的に判断し、平成21年3月期通期の紀陽ホールディングス連結当期純利益は43億円と見込んでおります。

<紀陽ホールディングス連結>

(億円)

	平成21年3月期通期
経常収益	870
経常利益	8
当期純利益	43

<紀陽ホールディングス単体>

(億円)

	平成21年3月期通期
営業収益	36
営業利益	31
経常利益	31
当期純利益	31

<紀陽銀行単体>

(億円)

	平成21年3月期通期
経常収益	784
コア業務純益	216
業務純益	116
経常利益	22
当期純利益	53

② 紀陽ホールディングス配当予想

- ・平成21年3月期の普通株式配当金につきましては、業績見通しなどを勘案し、前期と同じく、年間3円を期末一括でお支払いさせていただく予定です。

	平成21年3月期 通期	
	期 末	
普通株式	3円00銭	3円00銭
第一種優先株式	14円00銭	14円00銭
第4回第一種優先株式	15円00銭	15円00銭
第二種優先株式	10円00銭	10円00銭

(注) 第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。

2. 中間決算の概況

(1) 損益状況

【紀陽ホールディングス連結】

(百万円)

	20年中間期		19年中間期
	19年中間期比		
連結粗利益	26,574	△ 4,638	31,212
資金利益	26,787	830	25,957
役務取引等利益	4,842	△ 190	5,032
その他業務利益	△ 5,055	△ 5,277	222
営業経費(△)	19,963	381	19,582
一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,505	△ 2,505
不良債権処理額②(△)	4,931	△ 627	5,558
(与信費用①+②)	(4,931)	(1,878)	(3,053)
うち貸出金償却(△)	3,814	1,337	2,477
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 2,714	2,714
その他不良債権処理額(△)	1,117	751	366
株式関係損益	△ 1,938	△ 55	△ 1,883
その他	11	△ 488	499
経常利益	△ 247	△ 7,439	7,192
特別損益	1,842	629	1,213
うち償却債権取立益	1,019	△ 906	1,925
うち貸倒引当金戻入益	1,247	1,247	—
一般貸倒引当金戻入益	3,240	3,240	—
個別貸倒引当金戻入益(貸出関連)	△ 2,006	△ 2,006	—
個別貸倒引当金戻入益(貸出関連以外)	13	13	—
うち減損損失(△)	398	252	146
税金等調整前中間純利益	1,594	△ 6,811	8,405
法人税、住民税及び事業税(△)	341	34	307
法人税等調整額(△)	△ 1,192	△ 1,859	667
少数株主利益(△)	30	26	4
中間純利益	2,415	△ 5,010	7,425
(ご参考) 与信コスト総額	2,678	1,551	1,127

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)
＋(その他業務収益－その他業務費用)
3. 20年中間期の一般貸倒引当金繰入額は△3,240百万円となり、個別貸倒引当金繰入額1,992百万円とネットし、1,247百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。
(ご参考) 与信コスト総額＝与信費用－償却債権取立益－貸倒引当金戻入益(貸出関連のみ)
4. (△)は損失項目です。

(連結対象会社数)

	20年中間期		19年中間期
	19年中間期比		
連結子会社数	9	—	9
持分法適用会社数	—	—	—

※上記連結子会社のうち、株式会社紀陽カードディーシーと和歌山銀カード株式会社は、両社の株主総会の承認および関係当局の許認可等を前提に、平成21年4月1日に合併することで合意しております。

【紀陽銀行単体】

(百万円)

	20年中間期		19年中間期
	19年中間期比		
業務粗利益	24,707	△ 4,806	29,513
(除く債券関係損益)	29,750	178	29,572
資金利益	26,594	711	25,883
役務取引等利益	3,584	△ 278	3,862
その他業務利益	△ 5,472	△ 5,240	△ 232
国内業務粗利益	28,964	439	28,525
(除く債券関係損益)	27,816	△ 618	28,434
資金利益	24,819	12	24,807
役務取引等利益	3,558	△ 268	3,826
その他業務利益	587	695	△ 108
(うち債券関係損益)	1,148	1,057	91
国際業務粗利益	△ 4,257	△ 5,244	987
(除く債券関係損益)	1,933	796	1,137
資金利益	1,775	700	1,075
役務取引等利益	26	△ 10	36
その他業務利益	△ 6,059	△ 5,935	△ 124
(うち債券関係損益)	△ 6,191	△ 6,042	△ 149
経費(除く臨時処理分)(△)	18,361	9	18,352
人件費(△)	8,901	268	8,633
物件費(△)	8,179	△ 314	8,493
税金(△)	1,280	55	1,225
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,346	△ 4,814	11,160
うちコア業務純益(注. 2)	11,388	169	11,219
一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,117	△ 2,117
業務純益	6,346	△ 6,932	13,278
うち債券関係損益	△ 5,042	△ 4,984	△ 58
臨時損益	△ 6,108	△ 543	△ 5,565
不良債権処理額②(△)	4,371	△ 400	4,771
貸出金償却(△)	3,261	1,236	2,025
個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 2,389	2,389
貸出債権譲渡損(△)	1,035	680	355
その他の偶発損失引当金繰入額(△)	74	74	—
(与信費用①+②)	(4,371)	(1,718)	(2,653)
株式関係損益	△ 1,934	△ 189	△ 1,745
株式等売却益	57	△ 1,198	1,255
株式等売却損(△)	1,713	△ 510	2,223
株式等償却(△)	278	△ 499	777
その他臨時損益	197	△ 754	951
経常利益	237	△ 7,476	7,713
特別損益	1,850	6,476	△ 4,626
うち償却債権取立益	734	△ 990	1,724
うち貸倒引当金戻入益	1,539	1,539	—
一般貸倒引当金戻入益	3,061	3,061	—
個別貸倒引当金戻入益(貸出関連)	△ 1,536	△ 1,536	—
個別貸倒引当金戻入益(貸出関連以外)	13	13	—
うち固定資産処分損益	△ 24	7	△ 31
うち減損損失(△)	398	176	222
うち親会社優先株式評価損(△)	—	△ 5,562	5,562
うち預金払戻損失引当金繰入額(△)	—	△ 449	449
うち役員退職慰労引当金繰入額(△)	—	△ 84	84
税引前中間純利益	2,088	△ 998	3,086
法人税、住民税及び事業税(△)	27	2	25
法人税等調整額(△)	△ 1,043	461	△ 1,504
中間純利益	3,104	△ 1,461	4,565
(ご参考) 与信コスト総額	2,111	1,182	929

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

3. 20年中間期の一般貸倒引当金繰入額は△3,061百万円となり、個別貸倒引当金繰入額1,522百万円とネットし、1,539百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。

(ご参考) 与信コスト総額=与信費用-償却債権取立益-貸倒引当金戻入益(貸出関連のみ)

4. (△)は損失項目です。

(2) 業務純益

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年中間期	19年中間期	
		19年中間期比	19年中間期
① コア業務純益	11,388	169	11,219
職員一人当たり(千円)	5,277	△ 114	5,391
② 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,346	△ 4,814	11,160
職員一人当たり(千円)	2,940	△ 2,423	5,363
③ 業務純益	6,346	△ 6,932	13,278
職員一人当たり(千円)	2,940	△ 3,440	6,380

(3) 利鞘

<全体>

(%)

(紀陽銀行単体)	20年中間期	19年中間期	
		19年中間期比	19年中間期
① 資金運用利回 (A)	1.97	0.05	1.92
貸出金利回 (B)	2.24	△ 0.02	2.26
有価証券利回	1.45	0.03	1.42
② 資金調達原価 (C)	1.51	0.02	1.49
預金等原価 (D)	1.49	0.04	1.45
預金等利回	0.34	0.06	0.28
経費率	1.14	△ 0.03	1.17
外部負債利回	3.01	0.12	2.89
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.46	0.03	0.43
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.75	△ 0.06	0.81

<国内業務部門>

(%)

(紀陽銀行単体)	20年中間期	19年中間期	
		19年中間期比	19年中間期
① 資金運用利回 (A)	1.86	0.03	1.83
貸出金利回 (B)	2.24	△ 0.02	2.26
有価証券利回	1.31	0.02	1.29
② 資金調達原価 (C)	1.48	0.04	1.44
預金等原価 (D)	1.46	0.03	1.43
預金等利回	0.34	0.06	0.28
経費率	1.12	△ 0.03	1.15
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.38	△ 0.01	0.39
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.78	△ 0.05	0.83

(4) 有価証券関係損益

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年中間期	19年中間期	
		19年中間期比	19年中間期
債券関係損益(債券5勘定戻)	△ 5,042	△ 4,984	△ 58
売却益	1,716	1,004	712
償還益	-	-	-
売却損(△)	689	△ 82	771
償還損(△)	-	-	-
償却(△)	6,069	6,069	-

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年中間期	19年中間期	
		19年中間期比	19年中間期
株式関係損益(株式3勘定戻)	△ 1,934	△ 189	△ 1,745
売却益	57	△ 1,198	1,255
売却損(△)	1,713	△ 510	2,223
償却(△)	278	△ 499	777

(注) 19年中間期につきましては、別途、特別損失に親会社優先株式評価損5,562百万円を計上しております。

(5) 有価証券の評価損益

①有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

②評価損益

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	平成20年9月末			平成20年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△ 1,446	160	1,606	△ 821	401	1,222
その他有価証券	△ 36,140	6,381	42,522	△ 14,259	16,337	30,597
合 計	△ 37,587	6,541	44,128	△ 15,081	16,739	31,820
株 式	△ 6,599	5,163	11,762	△ 3,737	9,888	13,626
債 券	△ 7,124	1,029	8,154	2,555	6,351	3,795
うち変動利付国債	△ 5,684	—	5,684	△ 3,190	320	3,511
その他	△ 23,863	348	24,211	△ 13,899	498	14,398

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 平成20年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額は△32,670百万円、平成20年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額は△14,317百万円であります。
3. 変動利付国債の評価は、市場時価で評価しており、理論価格を利用しておりません。

(百万円)

(紀陽銀行単体)	平成20年9月末			平成20年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△ 1,446	160	1,606	△ 821	401	1,222
その他有価証券	△ 36,712	6,337	43,050	△ 14,843	16,282	31,126
合 計	△ 38,158	6,498	44,656	△ 15,664	16,684	32,349
株 式	△ 6,655	5,103	11,758	△ 3,836	9,788	13,625
債 券	△ 7,190	1,057	8,248	2,531	6,399	3,868
うち変動利付国債	△ 5,684	—	5,684	△ 3,190	320	3,511
その他	△ 24,312	336	24,649	△ 14,359	496	14,855

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 平成20年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額は△33,208百万円、平成20年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額は△14,843百万円であります。
3. 変動利付国債の評価は、市場時価で評価しており、理論価格を利用しておりません。

(6) 自己資本比率 (第二基準、国内基準)

【算出方法】

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	基礎的手法

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
① 自己資本比率	9.38%	△ 1.27%	△ 2.06%	10.65%	11.44%
② Tier I 比率	6.58%	△ 1.18%	△ 1.93%	7.76%	8.51%
③ 基本的項目	114,896	△ 15,092	△ 25,470	129,988	140,366
④ 補完的項目	48,907	440	605	48,467	48,302
(イ) うち一般貸倒引当金	10,907	440	605	10,467	10,302
(ロ) うち負債性資本調達手段等	38,000	—	—	38,000	38,000
⑤ 控除項目	—	—	—	—	—
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	163,803	△ 14,652	△ 24,865	178,455	188,668
⑦ リスクアセット	1,745,153	70,330	96,774	1,674,823	1,648,379
(イ) 信用リスク	1,622,372	68,998	95,308	1,553,374	1,527,064
(ロ) オペレーショナル・リスク	122,780	1,331	1,466	121,449	121,314

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
① 自己資本比率	8.81%	△ 1.27%	△ 1.83%	10.08%	10.64%
② Tier I 比率	5.98%	△ 1.17%	△ 2.13%	7.15%	8.11%
③ 基本的項目	103,978	△ 15,252	△ 29,280	119,230	133,258
④ 補完的項目	49,109	443	579	48,666	48,530
(イ) うち一般貸倒引当金	10,858	449	591	10,409	10,267
(ロ) うち負債性資本調達手段等	38,000	—	—	38,000	38,000
⑤ 控除項目	—	—	△ 6,878	—	6,878
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	153,087	△ 14,810	△ 21,823	167,897	174,910
⑦ リスクアセット	1,737,384	71,813	94,590	1,665,571	1,642,794
(イ) 信用リスク	1,620,432	70,772	93,728	1,549,660	1,526,704
(ロ) オペレーショナル・リスク	116,952	1,042	863	115,910	116,089

(ご参考)

(百万円)

(紀陽銀行連結)	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
自己資本比率	8.90%	△ 1.24%	△ 1.78%	10.14%	10.68%

(7) ROE

(%)

(紀陽ホールディングス連結)	20年中間期			20年3月期	19年中間期
		20年3月期比	19年中間期比		
当期純利益ベース(注1)	4.78	△ 6.43	△ 7.72	11.21	12.50

(注1) $\frac{\text{中間(当期)純利益}-\text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計}-\text{少数株主持分}-\text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{中間期末(期末)純資産の部合計}-\text{少数株主持分}-\text{中間期末(期末)発行済優先株式数} \times \text{発行価額})]} \div 2} \times 100$

(%)

(紀陽銀行単体)	20年中間期			20年3月期	19年中間期
		20年3月期比	19年中間期比		
業務純益ベース(注2)	17.06	△ 6.04	△ 10.39	23.10	27.45
当期純利益ベース(注3)	8.34	△ 0.58	△ 1.09	8.92	9.43

(注2) $\frac{\text{業務純益}-\text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計}-\text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{中間期末(期末)純資産の部合計}-\text{中間期末(期末)発行済優先株式数} \times \text{発行価額})]} \div 2} \times 100$

(注3) $\frac{\text{中間(当期)純利益}-\text{優先株式配当金総額}}{[(\text{期首純資産の部合計}-\text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{中間期末(期末)純資産の部合計}-\text{中間期末(期末)発行済優先株式数} \times \text{発行価額})]} \div 2} \times 100$

中間期については年間に換算し計算しております。

3. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権 (紀陽ホールディングス連結)

* 部分直接償却実施後

* 未収利息計上基準：自己査定ベース

① リスク管理債権の状況

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	5,642	948	1,759	4,694	3,883
延滞債権額	85,698	△ 4,501	△ 11,203	90,199	96,901
3カ月以上延滞債権額	315	△ 762	△ 488	1,077	803
貸出条件緩和債権額	18,358	△ 2,000	2,575	20,358	15,783
合計	110,014	△ 6,315	△ 7,357	116,329	117,371

(注) 部分直接償却による減少額

20年9月末：破綻先債権額 55,344百万円、延滞債権額 28,759百万円

20年3月末：破綻先債権額 51,372百万円、延滞債権額 32,736百万円

19年9月末：破綻先債権額 49,207百万円、延滞債権額 61,053百万円

(百万円)

貸出金残高(未残)	2,290,615	25,993	99,590	2,264,622	2,191,025
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.24	0.04	0.07	0.20	0.17
延滞債権額	3.74	△ 0.24	△ 0.68	3.98	4.42
3カ月以上延滞債権額	0.01	△ 0.03	△ 0.02	0.04	0.03
貸出条件緩和債権額	0.80	△ 0.09	0.08	0.89	0.72
合計	4.80	△ 0.33	△ 0.55	5.13	5.35

② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
貸倒引当金合計	38,191	△ 3,431	△ 4,844	41,622	43,035
一般貸倒引当金	14,287	△ 4,152	△ 988	18,439	15,275
個別貸倒引当金	23,904	722	△ 3,855	23,182	27,759
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
部分直接償却前	68.91	0.53	△ 3.36	68.38	72.27
部分直接償却後	34.71	△ 1.06	△ 1.95	35.77	36.66

(注) 貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権

(2) リスク管理債権 (紀陽銀行単体)

* 部分直接償却実施後

* 未収利息計上基準：自己査定ベース

① リスク管理債権の状況

(百万円)

		20年9月末		20年3月末	19年9月末
			20年3月末比		
リスク管理債権	破綻先債権額	5,602	830	1,723	3,879
	延滞債権額	85,931	△ 4,576	△ 11,061	96,992
	3カ月以上延滞債権額	315	△ 762	△ 488	803
	貸出条件緩和債権額	18,358	△ 2,000	2,575	15,783
	合計	110,207	△ 6,508	△ 7,252	117,459

(注) 部分直接償却による減少額

20年9月末：破綻先債権額 54,375百万円、延滞債権額 30,386百万円

20年3月末：破綻先債権額 50,558百万円、延滞債権額 34,458百万円

19年9月末：破綻先債権額 48,148百万円、延滞債権額 62,857百万円

(百万円)

貸出金残高(未残)	2,298,085	25,585	99,148	2,272,500	2,198,937
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.24	0.04	0.07	0.20	0.17
	延滞債権額	3.73	△ 0.25	△ 0.68	3.98	4.41
	3カ月以上延滞債権額	0.01	△ 0.03	△ 0.02	0.04	0.03
	貸出条件緩和債権額	0.79	△ 0.10	0.08	0.89	0.71
	合計	4.79	△ 0.34	△ 0.55	5.13	5.34

② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

		20年9月末		20年3月末	19年9月末
			20年3月末比		
貸倒引当金合計		34,941	△ 3,852	5,329	40,270
	一般貸倒引当金	12,737	△ 4,185	1,030	13,767
	個別貸倒引当金	22,203	333	4,299	26,502
	特定海外債権引当勘定	—	—	—	—

③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

		20年9月末		20年3月末	19年9月末
			20年3月末比		
部分直接償却前		67.27	0.29	3.84	71.11
部分直接償却後		31.70	△ 1.53	2.58	34.28

(注) 貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権

(3) 金融再生法開示債権 (紀陽銀行単体)

* 部分直接償却実施後

① 金融再生法開示債権の状況

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比	19年9月末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	30,215	△ 3,049	581	33,264	29,634
危険債権	62,479	△ 804	△ 10,507	63,283	72,986
要管理債権	18,673	△ 2,763	2,086	21,436	16,587
小計①	111,368	△ 6,615	△ 7,839	117,983	119,207
(合計債権残高に占める比率)	(4.76%)	(△ 0.33%)	(△ 0.55%)	(5.09%)	(5.31%)
正常債権	2,226,854	29,597	102,267	2,197,257	2,124,587
合計	2,338,223	22,982	94,428	2,315,241	2,243,795

(注) 部分直接償却による減少額

20年9月末：95,732百万円、20年3月末：95,852百万円、19年9月末：121,717百万円

② 金融再生法開示債権の保全状況

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比	19年9月末比	20年3月末	19年9月末
保全額②	101,307	△ 6,518	△ 8,380	107,825	109,687
貸倒引当金	24,995	△ 997	△ 3,206	25,992	28,201
担保・保証等	76,311	△ 5,522	△ 5,175	81,833	81,486
保全率②/①	90.9%	△ 0.4%	△ 1.10%	91.3%	92.0%

<平成20年9月末>

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	30,215	62,479	18,673	111,368
担保・保証等(B)	28,474	41,855	5,981	76,311
(B)によりカバーされていない部分(C)=(A)-(B)	1,740	20,624	12,691	35,056
対象債権に対する貸倒引当金(D)	1,740	16,959	6,296	24,995
引当率(D)/(C)	100.0%	82.2%	49.6%	71.3%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	94.1%	65.7%	90.9%

<平成20年3月末>

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	33,264	63,283	21,436	117,983
担保・保証等(B)	31,210	43,994	6,628	81,833
(B)によりカバーされていない部分(C)=(A)-(B)	2,054	19,289	14,807	36,150
対象債権に対する貸倒引当金(D)	2,054	16,598	7,339	25,992
引当率(D)/(C)	100.0%	86.0%	49.5%	71.9%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	95.7%	65.1%	91.3%

<平成19年9月末>

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	29,634	72,986	16,587	119,207
担保・保証等(B)	26,828	48,516	6,140	81,486
(B)によりカバーされていない部分(C)=(A)-(B)	2,806	24,469	10,446	37,721
対象債権に対する貸倒引当金(D)	2,806	21,165	4,229	28,201
引当率(D)/(C)	100.0%	86.5%	40.4%	74.7%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	95.4%	62.5%	92.0%

(4) 開示債権における各種基準の比較 (紀陽銀行単体)

<20年9月末>

(単位:億円)

自己査定結果					金融再生法開示債権				リスク管理債権	
債務者区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・ 保証等 による 保全額	引当額	保全率	区分	貸出金
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 63	24	39	— (5)	—	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 302	284	17	100.0%	破綻先債権	56
実質破綻先 238	176	62	— (11)	—	危険債権 624	418	169	94.1%	延滞債権	859
破綻懸念先 624	419	168	36 (169)	—	要管理債権 186	59	62	65.7%	3カ月以上 延滞債権 貸出条件 緩和債権	3 183
要 注 意 先	要管理先 261	66	195	—	小計(A) 1,113	763	249	90.9%	リスク 管理債権 合計(C)	1,102
	要管理先 以外の 要注意先 2,793	1,349	1,444	—	正常債権 22,268				貸出金 残高(D)	22,980
正常先 19,399	19,399				総与信(B) 23,382				貸出金に占める リスク管理債権 の割合 (C)÷(D) 4.79%	
合計 23,382	21,435	1,910	36	—					総与信に占める 金融再生法開示 債権の割合 (A)÷(B) 4.76%	

(注1) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 対象債権

- 金融再生法開示債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、未収利息および貸出金に準ずる仮払金を対象としております。

- リスク管理債権：貸出金を対象としております。

(注3) 要管理債権と要管理先債権の違いについて

要管理債権は貸出債権単位の集計であり、要管理先債権は要管理債権を有する債務者への総与信の集計であります。

(注4) 破綻先、実質破綻先および破綻懸念先の自己査定額における分類額

非分類額：引当金、優良担保(預金等)・優良保証(信用保証協会等)等でカバーされている債権

Ⅱ分類額：不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権

Ⅲ分類額：全額または必要額について引当を実施、引当済分は非分類に計上

(破綻先および実質破綻先については全額引当済)

Ⅳ分類額：全額償却を実施

(注5) 自己査定結果における()内は、分類額に対する引当額であります。

(5) 業種別貸出状況等 (紀陽銀行単体)

①業種別貸出金

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,298,085	25,585	99,148	2,272,500	2,198,937
製造業	352,181	17,961	33,357	334,220	318,824
農業	2,187	349	521	1,838	1,666
林業	2,518	△ 10	△ 221	2,528	2,739
漁業	1,764	368	223	1,396	1,541
鉱業	4,228	△ 9	△ 171	4,237	4,399
建設業	113,341	△ 1,479	△ 433	114,820	113,774
電気・ガス・熱供給・水道業	5,315	847	2,449	4,468	2,866
情報通信業	8,229	1,205	2,835	7,024	5,394
運輸業	63,907	882	3,250	63,025	60,657
卸売・小売業	280,500	6,693	116	273,807	280,384
金融・保険業	80,046	△ 274	△ 6,861	80,320	86,907
不動産業	237,043	4,047	16,706	232,996	220,337
各種サービス業	198,651	489	952	198,162	197,699
地方公共団体	226,518	△ 34,195	△ 4,468	260,713	230,986
その他	721,657	28,711	50,893	692,946	670,764

②業種別リスク管理債権

(百万円)

	20年9月末	20年3月末比		20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	110,207	△ 6,508	△ 7,252	116,715	117,459
製造業	16,129	△ 2,196	△ 2,189	18,325	18,318
農業	139	△ 7	△ 93	146	232
林業	803	41	353	762	450
漁業	81	△ 16	△ 72	97	153
鉱業	32	3	△ 22	29	54
建設業	14,349	△ 1,697	1,748	16,046	12,601
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	269	△ 119	△ 120	388	389
運輸業	3,487	△ 248	141	3,735	3,346
卸売・小売業	16,702	△ 4,864	△ 6,467	21,566	23,169
金融・保険業	854	434	413	420	441
不動産業	31,396	3,384	3,760	28,012	27,636
各種サービス業	15,778	△ 1,245	△ 5,353	17,023	21,131
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	10,182	21	648	10,161	9,534

(6) 消費者ローン残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
消費者ローン残高	769,084	35,055	61,601	734,029	707,483
うち住宅ローン残高	658,045	35,109	61,775	622,936	596,270
うちその他ローン残高	111,038	△ 55	△ 175	111,093	111,213

(7) 中小企業等貸出比率

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
中小企業等貸出金残高	1,764,084	44,709	73,666	1,719,375	1,690,418
中小企業等貸出比率	76.7	1.1	△ 0.1	75.6	76.8

(8) 国別貸出状況等 (紀陽銀行単体)

①特定海外債権残高

該当ありません。

②アジア向け貸出金

該当ありません。

③中南米主要諸国向け貸出金

該当ありません。

④ロシア向け貸出金

該当ありません。

(9) 預金、貸出金等の残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20年3月末比	19年9月末比		
預金等(期末残高)	3,208,632	△ 33,555	50,897	3,242,187	3,157,735
預金	3,128,417	△ 5,344	51,774	3,133,761	3,076,643
譲渡性預金	80,214	△ 28,212	△ 878	108,426	81,092
預金等(期中平残)	3,194,668	60,098	74,900	3,134,570	3,119,768
預金	3,118,558	69,092	90,839	3,049,466	3,027,719
譲渡性預金	76,110	△ 8,994	△ 15,938	85,104	92,048
預かり資産残高(期末残高)	239,349	△ 15,035	△ 44,671	254,384	284,020
投資信託	160,539	△ 15,588	△ 43,658	176,127	204,197
国債等	78,810	554	△ 1,013	78,256	79,823
個人年金保険等販売累計額	162,532	34,759	57,394	127,773	105,138
貸出金(期末残高)	2,298,085	25,585	99,148	2,272,500	2,198,937
(期中平残)	2,255,537	77,507	123,236	2,178,030	2,132,301

(ご参考) 紀陽銀行 中間連結財務諸表
(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	69,521	67,208
コールローン及び買入手形	51,035	20,751
債券貸借取引支払保証金	51,666	103,081
買入金銭債権	5,762	6,395
商品有価証券	4,025	2,860
有価証券	832,095	923,906
貸出金	2,290,615	2,264,622
外国為替	1,685	1,512
その他資産	24,861	47,730
有形固定資産	34,420	40,246
無形固定資産	5,187	3,542
繰延税金資産	36,810	32,107
支払承諾見返	23,731	25,355
貸倒引当金	△ 38,190	△ 41,616
資産の部合計	3,393,228	3,497,703
(負債の部)		
預金	3,120,138	3,125,974
譲渡性預金	80,214	108,426
コールマネー及び売渡手形	—	2,304
債券貸借取引受入担保金	—	18,287
借入金	22,496	22,466
外国為替	60	62
社債	16,000	16,000
その他負債	22,144	51,394
退職給付引当金	1,098	1,621
役員退職慰労引当金	72	84
預金払戻損失引当金	477	552
その他の偶発損失引当金	152	77
再評価に係る繰延税金負債	225	230
支払承諾	23,731	25,355
負債の部合計	3,286,812	3,372,837
(純資産の部)		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	32,357
利益剰余金	25,638	25,687
株主資本合計	138,092	138,140
その他有価証券評価差額金	△ 33,197	△ 14,814
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
土地再評価差額金	332	340
評価・換算差額等合計	△ 32,864	△ 14,475
少数株主持分	1,188	1,200
純資産の部合計	106,416	124,866
負債及び純資産の部合計	3,393,228	3,497,703

(2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
経常収益	43,534	42,869
資金運用収益	32,935	31,486
（うち貸出金利息）	(25,519)	(24,246)
（うち有価証券利息配当金）	(7,031)	(6,351)
役務取引等収益	6,824	7,028
その他業務収益	3,371	2,271
その他経常収益	402	2,083
経常費用	42,890	34,828
資金調達費用	6,182	5,408
（うち預金利息）	(5,268)	(4,155)
役務取引等費用	1,959	1,973
その他業務費用	8,621	2,292
営業経費	18,908	18,688
その他経常費用	7,218	6,466
経常利益	644	8,040
特別利益	2,281	1,929
固定資産処分益	17	3
貸倒引当金戻入益	1,243	—
償却債権取立益	1,019	1,925
特別損失	442	6,354
固定資産処分損	44	35
減損損失	398	222
親会社優先株式評価損	—	5,562
預金払戻損失引当金繰入額	—	449
役員退職慰労引当金繰入額	—	84
税金等調整前中間純利益	2,482	3,615
法人税、住民税及び事業税	287	249
法人税等調整額	△ 1,189	△ 1,623
法人税等合計	△ 901	—
少数株主利益 (△は少数株主損失)	3	△ 23
中間純利益	3,380	5,013

(ご参考) 紀陽銀行 中間個別財務諸表
(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	69,512	67,108
コールポート	51,035	20,751
債券貸借取引支払保証金	51,666	103,081
買入金銭債権	5,762	6,395
商有価証券	4,025	2,860
有価証券	833,295	925,002
貸出国為替金	2,298,085	2,272,500
外国の他為替資産	1,685	1,512
有形固定資産	13,433	42,117
無形固定資産	34,253	34,297
繰延税金資産	4,903	2,703
支払承諾	35,685	31,145
貸倒引当金	23,706	25,324
	△ 34,941	△ 38,793
資産の部合計	3,392,108	3,496,006
(負債の部)		
預渡性預金	3,128,417	3,133,761
コールマネー	80,214	108,426
債券貸借取引受入担保金	—	2,304
借入金	—	18,287
借入金	22,496	22,466
借入金	60	62
借入金	16,000	16,000
借入金	14,902	43,824
未払法人税等	228	129
リース負債	30	—
その他の負債	14,643	43,695
退職給付引当金	1,072	1,596
役員退職慰労引当金	72	84
預金払戻損失引当金	477	552
その他の偶発損失引当金	152	77
再評価に係る繰延税金負債	225	230
支払承諾	23,706	25,324
負債の部合計	3,287,797	3,372,998
(純資産の部)		
資本剰余金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	32,357
資本準備金	22,259	22,259
その他資本剰余金	10,097	10,097
利益剰余金	24,733	25,057
利益準備金	3,444	2,757
その他利益剰余金	21,288	22,299
繰越利益剰余金	21,288	22,299
株主資本合計	137,186	137,511
その他有価証券評価差額金	△ 33,208	△ 14,843
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
土地再評価差額金	332	340
評価・換算差額等合計	△ 32,875	△ 14,504
純資産の部合計	104,311	123,007
負債及び純資産の部合計	3,392,108	3,496,006

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 会 計 期 間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	前 中 間 会 計 期 間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
経 常 収 益	40,895	40,177
資 金 運 用 収 益	32,783	31,292
（うち貸出金利息）	(25,371)	(24,058)
（うち有価証券利息配当金）	(7,028)	(6,347)
役 務 取 引 等 収 益	5,777	6,055
そ の 他 業 務 収 益	1,936	764
そ の 他 経 常 収 益	399	2,064
経 常 費 用	40,658	32,464
資 金 調 達 費 用	6,188	5,409
（うち預金利息）	(5,276)	(4,160)
役 務 取 引 等 費 用	2,192	2,192
そ の 他 業 務 費 用	7,408	997
営 業 経 費	18,237	18,030
そ の 他 経 常 費 用	6,632	5,834
経 常 利 益	237	7,713
特 別 利 益	2,291	1,727
特 別 損 失	440	6,354
税 引 前 中 間 純 利 益	2,088	3,086
法人税、住民税及び事業税	27	25
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,043	△ 1,504
法 人 税 等 合 計	△ 1,016	—
中 間 純 利 益	3,104	4,565